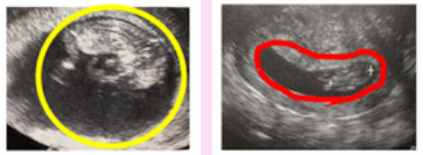




「5人に4人」が歯並び悪い現代。歯並びが悪いのは日本人だけではなく、全世界的にも問題になっており、どうすれば歯並び予防ができるのか？多くの研究がなされています。今回はどうしたら歯並びがいい子にできるか？についてお伝えします。実はとーっても**早い時期からのアプローチ**がポイントになります！

ポイント① 産まれる前からのケア

あごの発育は胎児期から始まっています。ポイントは妊婦さんの子宮の形。トウガン型かまる型か？妊娠初期のエコー写真からも判断できます！



妊娠初期のエコー写真はどんな形でしたか？

丸い場合⇒子宮の歪みが少ない
 長細い場合⇒子宮が歪んでいる



子宮の形は、お母さんの姿勢に影響されます。

歪んだ姿勢

まんまるの姿勢にならず
 首がそってしまふ
 舌が動きにくい
 飲み込み(嚥下運動)の
 練習ができない

生まれた
 時点で発達が
 遅れている



正しい姿勢

子宮は柔らかい
 赤ちゃんは丸く
 なり楽ちん

丸い姿勢(C字)で指が
 口に届きやすい
 飲み込み(嚥下運動)の
 練習ができる

ママの脊柱の
 S字カーブが
 しっかりある



つまり、口腔育成にはママの正しい妊婦姿勢を作っていくことが大切！

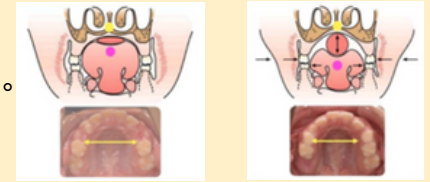


現在の姿勢がどうか無料測定！ AI姿勢分析「シセイカルテ」

姿勢分析のスコアにより体の歪みを可視化します。診断後は、**マタニティコース**にて理学療法士と産前産後ケアリストによる**施術や骨盤ベルトと骨盤体操**などで正しい姿勢へのサポートを行います！

ポイント② 正しい母乳育児

様々な論文から、長期的な**母乳育児**がお口の**成長発達を促す**ことが明らかになってきました。

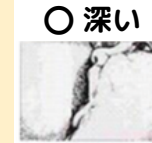
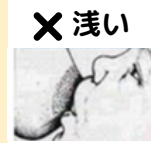


おっぱい

哺乳瓶やおしゃぶり

母乳と哺乳瓶の時のお口の使い方と顎の形態の成長の違い→

では、正しい母乳育児とはどんな状態でしょう？それは母と子それぞれにポイントがあります！



母（おっぱい）の状態：

乳首が**柔らかく伸びがよい**。
 母乳の出る量が適切。

子（口）の状態：

上唇小帯、舌小帯の状態が適切で、唇の巻き込みがなく**深く乳首を咥えられ**、波打つように舌を動かしておっぱいをしごくことができる。

授乳時間としては10～15分で満足する状態。

授乳期間は**2年間**！

助産師もサポートしています！



当院には助産師が在籍し、**マタニティ期から新生児期、赤ちゃん期まで継続して母乳育児をサポート**します！

助産師の授乳相談

8月随時開催中

1人30分1,650円
 10:00～13:00

ご予約は受付またはお電話にて

マタニティ教室

8月30日(金)

シセイカルテ無料診断付

10:30～11:30

ご予約はLINEリッチメニューの申し込みフォームより

マタニティコース

助産師・理学療法士
 産前産後ケアアドバイザー
 から充実の個別指導

詳しいお話をご希望の方は
 スタッフにお声がけください

新常識！

産後1ヶ月は**歯科健診も受けましょう**♪

産科で1ヶ月健診を受けたら、お口のことはお口の専門医、歯科医に診てもらいましょう。